

第2回よさの地域デザイン会議（岩滝地域）を開催しました

11月5日（金）知遊館あじさいホールで、「第2回よさの地域デザイン会議（岩滝地域）」を開催しました。「よさの地域デザイン会議」とは、持続可能なまちづくりにおける公共サービス・公共施設のあり方について、住民の方々との対話により多彩なアイデアや提案を収集する場です。

今回の会議のテーマは「施設の集約、機能の複合化」。

既にグループテーブルには、既に名刺サイズの公共施設カードが「小学校区」「旧町地域」「全町地域」ごとに整理して並べられています。カードの裏面を見ると、その施設の建築年、築年数、主な利用者、利用者数等が表示されています。

まずは、合併前の旧3町から引き継いだ庁舎、大規模集会施設、こども園・保育所、小中学校、体育館、グラウンド、テニスコート等の現状と課題について町企画財政課から情報提供を受け主な公共施設の現状を認識したあと、グループに分かれて「施設の集約、機能の複合化」について意見を出し合いました。

（参加者 住民 10人、町職員 5人、傍聴者 0人
ファシリテーター 福知山公立大学地域経営学部 教授 谷口 知弘 氏）

【会議の様子】



参加者のみなさまからの意見の一部を紹介します

A グループ

◇グラウンドは学校の物を利用することで良いのではという認識であったが、スポーツ施設がかなり利用されているという説明を受け認識が変わった。

◇スケートボード場は話題性がありイメージ作りにも良い。

◇公園（シーサイドパーク）+観光客（生産物販売施設）+カフェ（ケーキ工房・リフレ）+子育て ⇒多世代のつどいの場
⇒つながり・助け合い ⇒災害時に有効

B グループ

◇スポーツ活動が活発な与謝野町だからこそ、健康増進のためスポーツ施設は残してほしい。

◇地区公民館をもっと有効に活用できるようにしてほしい。→ミニ複合施設化、子育て支援、文化・スポーツ活動など

◇多世代間で交流できる施設 ※公民館、スポーツ、体験、子育て、体験 など

◇1つの場所で1日過ごすことができる施設 ※コミュニティセンター、役場窓口機能の出張所、医療・リハビリ、映画館、温泉施設 など

◇観光向けに宿泊施設と体験施設が一体となった施設 ※宿泊施設、キャンプ場、体験施設 など

C グループ

◇スケートボード場を建てる場合、費用対効果、いつまで有効利用できるか、取り壊しの費用等、考えなければならない。（要望があるからと言って安易に建てるのはどうか）

◇大きい施設（複合施設）を1つ作り、公共交通を整えることができれば良い。（コンパクトシティの考え方に近い）

◇年代に囚われない施設があればうれしい。

【感想】

- ◆現状（人口減、施設重複、老朽化、維持費）が町民にうまく伝わっていない。薄々は気が付いてはいるが。
- ◆施設の状況（グラウンドに雑草が茂る）を見れば現状（人口減、施設重複、老朽化、維持費）の問題がよくわかる。
- ◆若いひとの意見が大事、高齢者は後押し・応援。
- ◆（今の時代では）施設を安易に建ててほしくない。

問い合わせ先

よさの地域デザイン会議事務局（与謝野町企画財政課）

電話 0772-43-9015（直通） FAX 0772-46-2851

メール kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp